

夢育那須通信

~You make Nasu~

第5回

町教育委員会では、「夢・感動あふれる人づくり」という教育方針の下、学校・家庭・地域と、一丸となって「夢ある子どもを育む那須の教育」を推進しています。その取り組みや活動の様子を8回シリーズでお伝えします。



NAISU(ナイス)タイム人間関係プログラム

町独自の新教科NAISUタイム。今回は、3本の柱の一つ「人間関係プログラム」について紹介します。

子どもたちを取り巻く社会は激しく変化し、それに伴って生活体験の不足、人間関係の希薄化、規範意識の低下等が問題視されています。日常生活で、ごく自然に好ましい人間関係を築いていくことは、昔よりも難しい社会であるといえるでしょう。

こうした中で、町では平成24年度から「人間関係プログラム」の手法を用いて、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図っています。



東京聖栄大学教授の岡田弘氏に、プログラム全体の指導をいただいています

プログラムでは、エクササイズを通して次の4つのスキルの習得を図ります。

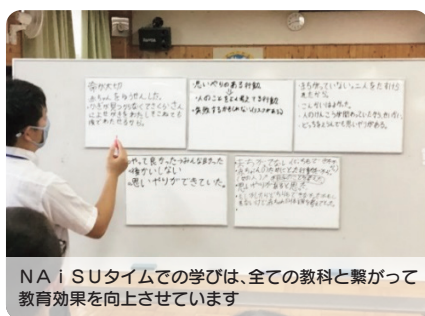
- ① 出合いのスキル
- ② 上手に相手の話を聞くスキル (聴き方)
- ③ 自分の意見や考えをはっきり伝えるスキル (自己表現)
- ④ 自分の気持ちをコントロールして対応するスキル (自分の気持ちへの対処・対応)

下右の写真は、上手に相手の話を聞くスキルを学んでいる場面です。友達と楽しくエクササイズしながら、気持ちよく対話するためのポイントを習得しています。こうした積み重ねで、日常のさまざまな交流を円滑に行えるようになることが期待されます。

教員研修も毎年複数回実施しています。下中央の写真は、今年度高久小学校で行った道徳の研究授業の様子です。授業後は、参観した他校の先生方と共に、授業研究会を実施しました。NAISUタイムの授業に留まらず、全ての教育活動とつなげて実践していくことで、コミュニケーション能力を一層向上させることをねらっています。



zoomでの研修の様子



NAISUタイムでの学びは、全ての教科と繋がって教育効果を向上させています



目を見て聴く、相づちを打つなど、相手を意識して話を聴く大切さを学んでいます(岡田先生の師範授業)

CAREプログラム専門研修をリモートで開催

町教育委員会は、子どもと大人の絆を深め、温かい関係を築くために「CAREプログラム」の手法を推奨しています。これは、子育てや子どもとの関わりがより楽しくなるコミュニケーションのスキルを習得するための大人向けのプログラムです。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でリモートでの開催となりました(上左写真)。モニター越しに参加者同士が子ども役、大人役を演じ、遊びや会話の場面を通して子どもとのコミュニケーションを学びました。

研修を受けた参加者からは、「普段困っていることや関わり方のコツなども相談しながらの研修だったので、とても参考になりました」「子育て中の親として、聞いて良かったと思いました」などの感想をいただきました。町教育委員会では、これからも子どもと大人の温かい関係づくりを進められるような活動を進めていきます。

